

就任のご挨拶

一般社団法人日本エレベーター協会
会長 網谷 憲晴



このたび、第75回通常総会にてご承認いただき、川崎幹会長の後任として、日本エレベーター協会の会長に就任いたしました網谷憲晴でございます。いまや都市生活に欠かすことのできない重要な社会インフラとなった昇降機(エレベーター・エスカレーター)に対する社会的要請に応え、昇降機業界の発展に貢献するべく、取り組んでまいります。

さて、日本国内の建設市場におきましては、地球温暖化に伴う気候変動などを背景としたエネルギー効率やレジリエンスの向上、ビルの快適な利用やセキュリティをはじめとする利用者視点での価値向上など、新たな社会課題やニーズが生まれる一方で、2024年4月から建設業界などにおいて適用された時間外労働の上限規制などにより、工事期間の長期化が懸念されており、また、建築資材価格や人件費上昇などの影響もあり、今後の建築着工棟数は緩やかな減速が見込まれております。そうした市場環境や経済情勢の変化を踏まえ、IoTやAIをはじめとするデジタル技術を活用し、新たなニーズに対応して、社会課題の解決に貢献していくことにより、昇降機業界は今後も成長し続けることができると考えております。

昇降機業界が第一に果たすべきことは、利用者から施工・メンテナンス作業員まで、昇降機に関わる全ての方々に対する安全確保です。引き続き関連法令改正への対応、周知に取り組むとともに、日本エレベーター協会標準(JEAS)、日本エレベーター協会内規(JEAB)の制定を通じて、昇降機の安全と品質を守り、業界の発展に貢献してまいります。そして、利用されるの方々に対する昇降機の安全利用の周知活動として、11月10日の「エレベーターの日」の活動を中心として、全国各地の公共団体や鉄道事業者をはじめとする多くの団体や企業と連携し、積極的に活動を展開してまいります。また、昇降機の施工・メンテナンス作業に従事される方々の安全確保も大きな課題であり、重篤災害ゼロを目標として、労働災害防止に向けた取り組みを強化、推進してまいります。

最後になりますが、会員各社をはじめ、監督官庁、関係諸団体の皆さまと連携しながら、昇降機業界の窓口として各種課題に取り組み、利用者ならび作業に従事される方々の安全確保をはじめとする社会的使命・責任を果たし、昇降機業界のさらなる発展につなげてまいります。今後とも、皆さまからのご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。